

献血者確保対策について（厚生労働省の取り組み）

1. 若年層に対する働きかけ

（1）中学生への普及啓発

血液の重要性や必要性について理解を深めてもらうため、全国の中学校にポスターを配布。

- ・平成28年度：11,347校に3.4万枚を配布
- ・平成29年度も同様の予定

（2）高校生への普及啓発

献血及び血液事業に対する理解を促進させるため、全国の高校生及び教員へ副読本（けんけつHOP STEP JUMP）を配布。

- ・平成28年度：6,381校に生徒用117万部、教員用6.4万部を配布
- ・平成29年度も同様の予定

（3）学校における献血に触れ合う機会の受入れの推進

学校献血や献血セミナーといった献血に触れ合うための機会を高等学校等に積極的に受入れてもらえるように文部科学省へ協力を要請（平成23年度より毎年度要請）。

（4）主に10代、20代の若年層を対象とした普及啓発

「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。

- ・平成28年度：4.2万枚を配布
- ・平成29年度も同様の予定

2. その他の普及啓発（国民的な普及啓発）

（1）「愛の血液助け合い運動」（毎年7月）の実施

① 厚生労働省、都道府県、日本赤十字社の共催で実施。啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。

- ・平成28年度：3.9万枚を配布
- ・平成29年度：4.0万枚を配布

② 「愛の血液助け合い運動」の一環として「献血運動推進全国大会」（毎年7月）を開催。

- ・平成29年度は、皇太子同妃両殿下に御臨席を賜り、秋田県秋田市において開催（7月12日）。

（2）テレビ、ラジオ、新聞等の政府広報を積極的に活用した普及啓発の実施

- ・平成28年度：政府広報オンライン、ラジオ、インターネットテキスト広告、新聞、厚生労働省広報誌「厚生労働」、Twitter
- ・平成29年度（予定）：政府広報オンライン、ラジオ、インターネットテキスト広告、新聞、厚生労働省広報誌「厚生労働」、Twitter、Facebook

3. その他の取組

(1) 若年層の献血者数の増加に向けた取組

平成 27 年度から平成 32 年度までの 6 年間を目標期間とする「献血推進 2020」を策定し、①若年層の献血者数の増加、②安定的な集団献血の確保、③複数回献血の増加、④献血の周知度の上昇を目標に掲げ、各種取組を実施しているところ。

その中でも特に「若年層の献血者数の増加」を達成するため、また、総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、日本赤十字社及び都道府県と協力の上、年代別献血者数の目標を設定中。

(参考) 総献血者数に占める割合

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代・60 代	総献血者数
昭和 60 年度	20.3%	30.3%	23.8%	16.2%	9.3%	8,763,037
平成元年度	18.0%	28.5%	22.6%	19.1%	11.8%	7,765,013
平成 5 年度	16.1%	30.5%	21.2%	19.0%	13.3%	7,138,298
平成 10 年度	11.0%	32.6%	22.8%	18.7%	15.0%	6,136,449
平成 15 年度	8.9%	26.1%	26.3%	19.4%	19.2%	5,606,457
平成 20 年度	5.9%	22.3%	27.3%	23.3%	21.2%	5,137,612
平成 25 年度	5.9%	18.3%	21.7%	28.1%	26.0%	5,156,325
平成 28 年度	5.2%	16.2%	18.6%	29.1%	30.9%	4,829,172